

第2回 沼田市中心企業・小規模企業振興会議 会議録

1 日 時 令和5年10月27日（金）午前10時～11時15分

2 場 所 テラス沼田4階 庁議室

3 出席者 須田恭弘会長、橋本浩二職務代理、中林寿緒委員、平原将吉委員、小菅伸一委員、宇敷喜与次委員、和田俊明委員、相京貴志委員、山口正委員、田中栄一委員、井上敏夫委員

（事務局：産業振興課長、産業振興係長、商工振興係長、企業誘致推進室長）

4 内 容

【1 開会】

—交代委員の紹介—

東和銀行沼田支店長 柳澤一貴委員→群馬銀行沼田支店長 和田俊明委員(10月1日付け)

【2 会長あいさつ】

中小企業・小規模企業振興会議に参集いただき感謝申し上げます。第2回目となるが第1回目より有意義な会議にしていきたいと思う。会議の名前のとおり中小企業・小規模企業の振興にわれわれの会議が少しでも寄与できたらと思っているので、ぜひ忌憚のないご意見をいただきながら進めていきたい。

【3 議事】

(1) 沼田市中心企業・小規模企業振興施策について

—【資料1】について事務局説明—

—【資料2】について事務局説明—

—【資料3】について事務局説明—

(2) 意見交換

○交通機関、バス・代行等も少ないので特に夜は出て行きづらい。商店街も早く閉まってしまうが、沼田市の中心部である街をもう少し充実できるようなインフラの整備をしていただけるとありがたい。

○地域の中にどういうビジネスがあって、どういう商品があるかと言うことを案外知らない。自社のホームページ等で発信されている方は多いと思うが、地域として知る機関や手段があるとよい。現状でも広報等で周知していると思うが、地域の商品やサービス、会社を知る手段があればと感じている。

○新店舗がオープンしても働き手がいらない。企業は来たけど働く人がいなくて出て行かれてしまうのが一番辛いところなので、地元に残れるような形になるのが一番良いと思う。そ

の一つに外国人の雇用というのものもあるのかもしれないが、受入体制を今後整備していく必要があると感じている。

- 海外販路の取組を進めているが、3年間コロナ禍でなかなか具体的な実施ができなかった。今年は商工会連合会の事業でシンガポールと台湾、台北と台南で商談会を実施しているが、円安と言うこともあって台湾の人は今まで以上に日本に来たがっている。われわれが台湾に行きたいと言うより台湾の方が来たいという感じである。インバウンドになってしまうが、この機を逃さないで市としても何らかの対策を練って行けばお客さんが増えてくると思う。中小企業・小規模企業の振興に資するインバウンド誘致について、観光も絡むが何か対策が取れたらと感じている。
- 就職や中途採用の情報を見る人は必ず会社のホームページを見る。ホームページの善し悪しで会社の雰囲気や中身に魅力を感じて就職する人もいる。知っていただく機会を設ければ他の地域からも呼び込めるのではないのかと思うので、ホームページを充実させるためのサポートができれば採用でも良い効果を生むのではないかと感じている。
- 利根沼田地域の人口は減少している。市外から通っている人もいると思うが、通勤時間がかかるので大体高速道路を使用する。高速道路代の一部でも補助があればもう少し沼田に働きに来る人が増え、採用する範囲も広がるのではないかと思う。
- 群馬には優良企業とか魅力的な仕事をしている会社がたくさんある。若者にその魅力を伝えられるように、より一層力を入れて行ければと思う。
- 事業承継だが、昔は親族承継が当たり前だった。会社の状態が悪くなってM&Aで会社を売ってしまうのがほとんどであったが、今はそういうケースではなく事業後継者に困って会社を別の方にお願するケースがほとんどである。事業所が1つなくなるとそこでの雇用が失われ、家族もいるので地域にとって大きな損失になる。事業承継に悩んでいる経営者は多く、その辺のサポートをより一層進められればと思う。
- 子供の減少と言うことで高校生も減少している。市内の高校も合併をしていく中で定員も減っていく。地元に残る子がどのくらいいるかと考えたときに、本校のように就職が半分ぐらいいると地元に残れるかと思うが、なんとか地元と言うことで高校生のうちからいろいろなイベントに出させていただいている。産業展示即売会もいろいろな企業さんと知り合う機会でもあるが、そんな機会がもっとあったら良いかなと思っている。地元の企業を知ってもらってそこに就職したいと思うように、とにかく地元に残って地元で活躍できる子を育てるのが何よりの使命だと思っている。
- 生徒はどんな企業があるか知らない。どうしても先輩が行っている会社の資料がたくさん残っていたり、学校に載っているパンフレットも大手企業が中心となってしまう。こんな企業が地元にはたくさんあるよとか、学校として伝えてはいるがいろいろなところで宣伝してもらって生徒のためになればと思う。
- ホテルや大型店舗がオープンしてだいぶ市内の買い物の動きが変わると実感している。私たちが小さい頃というのは下之町、中町、上之町が街と言われていたが、ショッピングセンターを中心とした買い物の場所が変わる気がする。観光誘致の話もあったが、尾瀬、谷川岳とかの中継地点とかそういう意味合いで活用していけば良いかと思う。

- スマートシティという役所関係を中心として、その近くに買い物の場所、郵便局やガソリンスタンドを作るということをやっているが、小さい町ではガソリンスタンドを持って来ることもできないので、一つに集約したようなところで生活ができるようなまちづくりを今後ともやらせていただきたい。エコカーの普及によりガソリンスタンドがだいぶ減っている。今後はガソリンスタンドがどのようになっていくのかということも市として動向を見守るべきだと思う。
- 買い物の話もあったが、休日だと車で吉岡とか前橋のショッピングセンターに行くケースが多いと思う。日頃のちょっとした買い物や食事は沼田で良いが、休みとなるとみんな出かけてしまう。どこに人が集まるかを考えてまちづくりをしていただければ良いかと思う。
- 最近の動向として、電車通学をしている高校生は渋川女子高校や育英高校とかがだいぶ多い。上りは結構いるが下りで利根商業高校に行く学生はほとんどいない。高校生の地元からの流出が実際問題起きている。その辺も対策もするべきではないかと思う。
- 水道工事会社に20年間努めて40歳で起業した人がいるが、勤めていた仕事の延長として新しく会社を作り、連携して会社として大きくするような形であるが、自分の特性を次の会社の設立に向けたほうが良いかと思う。起業であれば年齢に関係なくいろいろな職業があるので、意見を聞きながら活性化していけば良いかなと思う。
- 今は車社会で、沼田で買い物をしないで賑やかなところへ行ってしまう。車で行けば時間的にはロスはなく、駐車場もあるし店も単独ではなくいろいろな物が買える店が並んでいるのでそっちへ行ってしまう。自分たちの住む町の商店を育てていくことを考えてもらえるような体制ができればと思う。
- 商店街というのは小さい店から銀行とか大企業が入っている店舗を構えている。商店街が良くなるということは、中小企業ばかりでなくて大企業も集まってくるのではないかと思う。上之町は歴史的な建物ができて、天狗広場もあって明るくなっている。街そのものが利害を持つような、それで他所からも来てもらうというようなまちづくりを考えていく必要があるのではないかと思う。
- 栄町のショッピングモールがオープンし、ルートインもオープンしているがまだまだ働く人が足りていないのが実情である。今年の4月から9月までハローワークの会場を使って25回ほど企業の相談会をしていて、120人ぐらい来てくれて50人弱だが新規雇用が生まれている。沼田にとって50人の新規雇用は非常に大きいですが、それでもまだまだ足りないとされているので、下期も継続してやっていきたいと考えている。
- 上毛高原駅の観光客の調査をしてみたが、ビジネス客も観光客も去年から比べるとかなり増えている。レンタカー会社も去年よりかなり忙しいと言っていたが人を増やすところまでは行きませんがと話していた。1階のお土産屋さんにも聞いたが暇な時期ももちろんあるが、かなり忙しかったという話をされていた。
- 10月の月上旬に居酒屋とかに調査をしたところ、売上は沼田まつりの時期が1番大きかったので8月は良かったようである。9月は8月を10とすると8ぐらいだったが、去年と比べるとずっと良いと言っていた。ただ物価が上がって仕入コストが上がっているなので、売上が上がっても儲けは少なくなっているという話だった。そんな情報を確認していてこれ

からもまだまだ新規出店が出てくるが、その中で全然人が足りない状態である。

- ハローワークに来るお客さんは、今までは60代後半ぐらいが多いイメージだったがこの4月以降は70代もいるし80代もいる、年金が限られるのもう少し働きたいと言って仕事を探しに来る人が実際にいる。ルートインもフレッセイも求人をお願いしているが、なかなかそこに対応できるだけの人がいない。企業が新規出店するときには忙しいというのが前提なので、その忙しさに採用になった人がついて行ける自信がないから採用になりにくい。慢性的に足りないからそこに入れてしまって、来たからやっという話になると長く続かない。大変だが社会的にもバックアップして行かないといけない気がしている。
- 今までもやっているがこれから一番力を入れなくてはならないのが情報発信能力、発信方法かなと思う。市のHPや広報等で、使えるものはみんな使っていくつもりではいるが、必要などころに必要な分量の情報が行っているかということになると、末端までは行き切れていないのが実情なんだというところを感じた。一言に情報と言っても、仕事の話、サービス、雇用の話、すべて情報としてどこに向けてどのツールを使って発信するかというのがマッチングしないと難しいと思う。行政とするとそういうところを工夫するべきなんだろうなど。ホームページひとつとっても善し悪しが必ず出てくる。
- 大きい資本が入ってきたところで、街の位置関係、商圈の位置関係が変わってくるとそこに対して行政は何をするべきなのかいうのを突きつけられた気もしている。市のほうで操作をして、ここに資本投下をしてくださいと言っているわけではないので、それをどう今の沼田市にマッチングさせて活かしていくのかというところは行政が考えるべきところなんだろうなどということもあるので、その辺を課題として認識をさせていただいた。
- 街は生き物だと言うが、大きいものが建つと人の流れも変わるし、意識も変わる、その辺をどう捉えていくかというのは大変難しいところではあるが、行政としてしっかり考えていかななくてはならないところだと思った。いろいろなご意見をいただき参考になるところがあったので、次の会議に向けて精査をさせていただき、新しい施策、今やっている施策の充実を含めて考えていきたいと思う。

(3) その他

—事務局からの事務連絡—

※次回開催は、来年5～6月に開催の予定

【4 閉会】